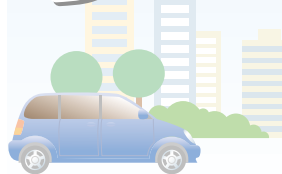


とちぎの未来を拓く道づくり



県は、より便利で安全な道づくりのために、「三つの基本目標」と「二つの基本姿勢」に基づいて道路整備に取り組んでいます。そこで、基本目標の一つである「県土の活力を高める道づくり」の中から代表的な三つの道路を紹介いたします。

地域の産業や経済を支えます

鬼怒テクノ通り

国道408号「鬼怒テクノ通り」は、真岡市長田の県道真岡上三川線と宇都宮市氷室町の国道123号を結ぶ延長十一キロのバイパス道路。この道路は、東北自動車道矢板インターチェンジ（IC）と常磐自動車道を結ぶ総延長約百キロの地域高規格道路（※）「常総・宇都宮東部連絡道路」の主要な部分を形成しています。

沿線一帯には、真岡工業団地や清原工業団地などが控えており、それらを結ぶ国道408号は、大型車が多く、慢性的な渋滞が起きている。今後、「鬼怒テクノ通り」の整備を着実にすすめることにより、渋滞が改善され、製品輸送や通勤などの所要時間が短縮されることとなります。

さらに、現在建設中の北関東自動車道真岡ICにも接続することにより、県内の先端技術集積地域を日本全国や世界各国へ直結する大きな役割を果たすことになります。

恵まれた環境を守るために

県は、地域の自然環境に悪影響を及ぼさないよう「環境にやさしい道づくり」に取り組んでいます。「鬼怒テクノ通り」の一部である「真岡バイパス」では、工事をするするにあたり、周囲に生息する動植物の生態調査や希少植物の移植作業を実施しました。また、自生木による森林復元のために、ドングリから育てたクヌギやコナラの苗木を植樹する取り組みも子どもたちの手によって行われています。



苗木の植樹活動を行う子どもたち

※一ロケモ

「地域高規格道路」とは、高速道路と国道県道などの一般道路との間に位置する道路で、高速道路ほどのスピードは出せませんが、交差点を立体化するなどして、速く、たくさん車を走らせることができます。

国際観光都市日光への道

日光宇都宮道路

東北自動車道宇都宮ICと日光市の清滝ICを結ぶ「日光宇都宮道路」は、六月二十八日、日本道路公団（現在は東日本高速道路（株））から栃木県道路公社へ引き継がれました。通行料金が約半額に引き下げられ、ますます利用しやすくなりました。さらに、地域に愛される道路としてご利用いただけるよう、公募により愛称を「日光道」に決定しました。

より安く、より身近になった「日光道」。今後は、ICの増設などをすすめて、サービスの向上に取り組んでいます。

県民参加の道づくり 環境にやさしい道づくり



とちぎの道路



計画路線	供用区間	整備区間※
		調査区間
地域高規格道路	候補路線	無指定
		指定
北関東自動車道	供用区間	整備区間
		整備区間

※整備区間
現在、供用中であっても、立体交差や多車線化をすすめている区間は、整備区間に含まれます



11月18日に開通した国道408号鬼怒テクノ通り「真岡バイパス」

『道路、本来の機能が果たせるように』



宇都宮大学
森本章倫さん

道路をピラミッドに例えるならば、上にある道路が地域高規格道路で、最も下にある道路が生活道路です。本来、都市内に入る必要のない車は、ピラミッドの上にある道路を通りますが、その道路ができていなければ、車は下の道路へと流れ、渋滞を引き起こします。下の道路が渋滞すれば、車はさらに下の道路へと…。結局、ピラミッドの底辺にある生活道路の交通量が増え、わたしたちの身近なところで交通事故が起きてしまいます。

道路をつくる際には、まちづくりの中で、道路がどういう役割を果たしていくのかという視点に立つことが必要です。道路が本来の機能を果たすことで、渋滞や交通安全上の問題が解消するばかりではなく、歩いて楽しい道づくりや高齢者に優しい公共交通も実現可能となってきます。将来を見据えれば、とちぎの道づくりには、なくてはならないことがまだまだ多く、できるときにきちんと整備していく必要があると思います。

皆さんの「もっと」をかなえるために

北関東自動車道



愛称が「日光道」に決定した「日光宇都宮道路」

群馬県高崎市と茨城県ひたちなか市を結ぶ全長約百五十キロの「北関東自動車道」。この道路の完成によって、移動時間が短縮されるだけでなく、首都圏から放射状に延びる東北・関東・常磐の三つの高速道路にも連結され、高速交通のネットワークがさらにすすみます。これにより、北関東三県はもとより、全国との新

■北関東自動車道の整備状況（平成17年11月現在）		
●群馬県境～（仮）岩舟JCT 用地進ちょく率 約94% 工事発注率 約50%	約21.7km	
●栃木都賀JCT～宇都宮上三川IC 平成12年7月21日開通	約18.5km	
●宇都宮上三川IC～茨城県境 用地進ちょく率 約100% 工事発注率 約100%	約17.8km	

問 県高速道路対策室 ☎028-623-2395

「スイット栃木！東北自動車道スマートIC社会実験」がさらに便利に！！

上河内SAおよび那須高原SA下り線（福島方面）ETC専用出口に加え、上り線（東京方面）にETC専用入口を新たに設置し、平成18年2月24日から再開します。

実験時間：午前6時～午後10時

対象車種：ETC搭載の軽自動車および普通車

http://www.switto-tochigi.jp

問 県高速道路対策室 ☎028-623-2395



◆ これからも、県は、県土の骨格となる道路から身近にある生活道路に至るまで、県民の皆さんとともに、「とちぎ」の未来を拓く道づくりに取り組んでいきます。

【問合せ】県道路建設課
☎028-623-2409